



発行責任者 都立向丘高等学校同窓会
会 長 小川力洋
編 集 会報委員会
事 務 局 〒113-0023
東京都文京区向丘1-11-18 向丘高校内
TEL 3811-2022
FAX 3812-4055



看板大賞〔22年9月向陵祭(文化祭)〕

3年6組 小熊達起さんのコメント

高校生活最後の年に看板大賞という大きな賞をもらうことが出来てとてもうれしいです。私たちのクラスの出し物が『探偵ゲーム』ということでシャーロック・ホームズをモチーフにしました。クラスのみんなの協力があったからこそもらえた賞だと思います。

《御挨拶》

今後へ期待



同窓会会長

小川 力洋

① 卒年度幹事に発起を!!

本来各卒業年度毎に代表幹事が選出されその幹事の方により級幹事をまとめて頂き、それぞれに活発な運営が行われることが望ましいことなのです。近年、卒業時に各級毎に男女一名ずつ選出されることになっておりますが、日程等の都合によるものかと思われませんが、お呼び掛けに對しまして、皆無に等しく、有名無実であります。将来に渡って、発起がなされることを望みます。

② 総会・懇親会日の活用!!

毎年、会報にて同窓会総会日を発表し、事業報告・会計報告・次年度計画の審議等を行い議事を決議しております。その後は必ず楽しい懇親会とともに抽選会を行い参加者同士で、素晴らしい賞品に一喜一憂しているものです。この期日を活用され、友人同士なり幹事をやってみようとされる方々がご参加されることを願っております。

③ 現役とのつながり

総会に続いてアトラクションに、現役部活の中で常に伝統を守り続け、都大会等で優秀な成績を収めている「ブラスバンド部」を招聘し、音楽会としてあります。これには二十名程が出演し

ています。彼等の現役時代に、同窓会活動の一環として認識して下さい。るものと考えます。

④ 新成人まで無料招待!!

新入会者(新卒年生)も新成人までの方々を無料で招待しています。たまに校内で開催ということでもノンアルコールでの懇親会となつていことが新成人には物足りず、残念ですが、終了後に、学外で盛り上がりつつありますが、機会を作っている、と考えております。

お料理もノンアルコールのため内容をおいしく吟味し、盛卓して頂いております。ソフトドリンク飲み放題であります。新入会歓迎を兼ねたものです。大いにご参加して下さいを切望いたします。

⑤ 入会金・年会費の拝受

声なき声援隊からの贈り物としてありがたく拝受いたしております。特に入会金に關しましては、会報発行・発送へと全国の住所判明者に向けて一万有余をお出ししている所です。これには、前号にも述べましたとおり入会金にて可能と果せる重要な財源となっております。一方年会費のご協力によりまして会の運営が賄われている所でありまして、稀少で貴重な財源として、大切にしかも有効に活用させて頂こうと、感謝申し上げますので、尚一層のご支援ご鞭撻を願ひ申し上げます。

同窓会活動のご案内 (やよい会)

□ 平成23年 4月29日(金(祝日))

☆総会 受付13:00 開始13:30~14:15 (会務、会計の報告、審議)

☆記念演奏会 14:30~15:30

出演: 母校吹奏楽部員 指揮: 前原 覚 先生

☆懇談会 16:00~18:00

お料理・ティーパーティー 抽選会(県名ゲーム)あり 一般会員参加費 ¥2,000

新成人祝う会 平成21年3月卒業生 22、23年卒業生無料招待します。但し、卒業時の各学級幹事が参加人数をおまとめの上、会長までお知らせ下さい

☆申込方法(一般会員) 同封の用紙にて4月20日(水)までにお振込下さい

☆場所 すべて母校6階多目的ホール

□ 平成23年 6月19日(日)

☆全国大会 “やよい会札幌大会” 受付 12:30(現地集合) 大会セレモニー、懇親会

13:00~15:00 場所 京王プラザホテル札幌(札幌駅から徒歩5分) 札幌市中央区北5条西7丁目2-1 電話 011-271-0111 懇親会費 ¥3,500(他、会補助)



同封の用紙で「その他」の欄に札幌大会費とご記入の上お振込下さい。(要予約)

□ 平成23年 9月3日(土)~4日(日)

☆合同旅行会 参加者募集!! 行き先 熱川温泉(予定) 熱川シーサイドホテル ☎0557-22-6200 フリーダイヤル0120-582-873 参加費 ¥10,000(すべて込) 要予約、小川会長宛

TEL&FAXにて 8月15日(月)までにお申込下さい。集場所等詳細は後日連絡いたします。

□ 平成23年 9月17日(土)~18日(日) 9:00~15:00

☆学校訪問(ホームカミング会) 母校向陵祭(文化祭)音楽・演劇・研究発表あり PTA展示室にて同窓会作品展あり 一般会員の出品歓迎(要連絡小川会長まで)

☆懇親会 9月18日(日) 15:30~17:00(ノンアルコール)

☆会費 ¥2,000(土産付) ☆場所 A棟3階会議室 要申込(小川会長まで)

総合問合わせ先 〒114-0012 東京都北区田端新町1-27-11 東京都立向丘高等学校同窓会 会長 小川 力洋 TEL 03-3893-9792(代) FAX 03-3893-9793

仕事と心



校長 関根 茂

日頃より同窓会の皆様には、母校への厚いご支援に感謝しております。また、卒業生の皆さんが各方面でご活躍のほどうれしく思っています。社会で貢献できる人材を育成することが私の使命と考えていますが、生徒に本校の教育を通して、将来の社会の指導者たるものの資質とは何かを学ばせるつもりです。そのために勉学をしつかりできる環境作りと人間関係を豊かにする資質の育成に努力しています。お陰さまで皆様が築き上げた伝統は、脈々と引き継がれ本校は近年、上昇気流に乗ってきています。今後とも同窓会の皆様には本校への温かいご厚情をお願いいたします。

さて、NHKテレビの番組「プロジェクトX」で紹介された、ヤマト運輸が北海道に宅配便の版図を広げたときの話をします。営業を始めた当初、注文の電話が一件もかかってこない日が続きました。ついに、当時小荷物の配達を一手に引き受けていた郵便局の前で、荷物を手に郵便局を訪れる人に手当たり次第に声をかけることにしました。しかし、大事な荷物をわけの分からぬ業者には頼めないとわれわれ、まったく相手にされませんでした。毎日、毎日、手応えがなく疲れ果てて帰宅する生活が続いたある日のこと。アパート

に帰り着いた一人の社員の元に郷里の母親から荷物が届きました。その梱包を解くと、中には手編みのセーター、そしてすぐに味噌汁が飲めるようにと手製の味噌と刻んだ大根と油揚げが入っており、添えられた手紙には「北海道の寒さは体にこたえるでしょう。風邪に気をつけて頑張りなさい。」と書いてあったそうです。めげそうになっていた社員は「今まで自分が運んでいた荷物は、いくつあつても荷物は荷物でしかなかった。自分たちは、こんな大切なものが一杯詰まった荷物を運んでいるのだ。」と初めて気づかされたといえます。この日からこの社員は郵便局の前で、今まで以上に腰が折れるほど深く頭を下げながら根気よく声をかけ続けました。こんなある日、年を取った婦人が寄ってきて「あなたがあんまり熱心だから、一度出してあげましょう。」と孫のために編んだセーターの荷物を差し出しました。この日から会社には次第に注文が来るようになり、多くの営業所を抱え現在に至っています。この社員は現在でも荷物を託される時、まるで大切な赤ん坊を抱くかのように必ず両手で抱きかかえるように受け取っているそうです。

今年の卒業生も将来、様々な職業に従事すると思います。しかし、仕事の内容は変わっても、この話の中に、あらゆる仕事に共通に求められる姿勢の根幹があるような気がしてなりません。新たな旅立ちのこの時期、この話が少しでも心に残ってもらえたら幸いです。

学校だより

本校の近況



副校長 難波 伸一

本校では、学校経営計画に示した、確かな学力、進路実現への意欲、規範意識、豊かな心の育成等をめざしています。そのため、今年度土曜日講習を開始し、大学講義受講を可能にしました。また頭髮指導を一層徹底し、部活動にも力を入れています。そして地域に開かれた学校づくりを一層進めています。

土曜日講習の目的は、進路実現に向け、学習習慣や学力を一層身につけさせることです。教科は国語、数学、英語で、講師は元教師、大学院生、大学生です。対象は一・二年生で、一年三〇名、二年十一名が申し込みました。費用はテキスト代のみで無料で受講できます。

平成二十三年四月から、希望生徒が大学の講義を受講できます。現在高大連携プロジェクトを中心に、東洋大学、日本大学、法政大学との間で、準備を進めています。

頭髮指導については、二年は極端に華美な頭髮禁止、一年は染色禁止の指導を徹底しています。来年度の新入生も染色禁止です。

今年度各部とも活発に活動しています。今年度の主な実績は次の通りです。



H22年度 サッカー部員たち

女子バレー部は、東京都高等学校新人リーグ戦予選優勝、都大会進出。陸上競技部は、東京都第二支部新人戦予選会で、やり投二位と八位、砲丸投六位、円盤投三位で、都大会進出。サッカー部は、DUOリーグ二部で優勝し、一部に昇格。演劇部は、東京都高等学校演劇連盟地区大会奨励賞、第三回高校生声優朗読コンクールで五位と十七位。美術部は、東京都高等学校文化祭美術・工芸部門中央展に出品しました。

地域とつながる主な活動は次の通りです。吹奏楽部が高齢者センターで演奏活動。一年生全員が保育園・幼稚園で、保育の実体験。東京都・文京区総合防災訓練に四十四名の生徒が参加。茶道部が東洋大学茶道部と白山祭りでの野点(のだて)共同開催。文京区立第十中学校での主幹教諭による出前授業「清水寺 参詣マンガラを読む」。日本IBM社員協力による授業「ロボットを作って動かそう!」。法政大学キャ

同窓会活動報告

全国大会「やよい会横浜大会」

リアデザイン学部学生六名協力によるピア・サポート学習（生徒数名が大学生と語り、人生等について考える学習）等です。

同窓会、PTA、地域の方々のご協力を頂き、校長をはじめとし教職員一同、生徒の幸せと向丘高校の発展のため、今後とも尽力していきたいと存じます。

生憎小雨まじりの天候だったが、役員他三名の十五名が桜木町駅に集まった。十時過ぎ出発し、汽車道を歩く。棧橋の向こうにはインターコンチネンタルホテル等のビル群が眺められる。共々にノスタルジアにしたり、語りながらゆつたりと……。ワールドポーターズの舶来品をウインドウショッピングする。外に出ると遠くに赤レンガ倉庫が見えてきた。足早になる所だが、ここでパチリ。

倉庫内では十一時三十分まで自由散策だった。多種多様な店舗が次々に並び目の保養となった。長い倉庫の裏方にはシート囲いで舞台が多数設置されており屋外ステージで催し物がありそうだった。表に出て目の前のバス停から「赤いくつ」ミニバスに乗車する。市内循環百円で港の見える丘公園まで登り、折返し大棧橋、駅前まで遊覧した。間近のワシントンホテルに定刻十三



H22. 5. 23 横浜汽車道にて

時入館し、五階ベイサイドにて大会宣言し、歓談となった。東京近郊だけに、時間を気にせず、気楽な会合の一時を過ごすことができた。

故・飯田幸男先生(元副校長)

を偲ぶ会を有志で行う

石井隆夫元校長・真木基行元PTA会長が発起人となり、飯田先生を偲ぶ会が平成二十二年四月九日夕刻、学校向かいの長寿庵で行われました。先生は十五年四月、上野高校から赴任され十九年三月まで四ヶ年にわたりお勤め戴きました。

この後、北区の飛鳥高校に移っておいででしたが、持病により二十一年九



H22. 4. 4 於 長寿庵にて



月二十七日他界されました。お顔からもその柔和、実直さが見受けられる様に当たり良く、しかも誠実勤勉がモットーの素晴らしいお方様でした。当時の役員等がご参来され、在りし日の語らいを尽きることなく思い描いて偲んだ次第でした。

小川力洋・記

活動だより

還暦——第二の人生を どう迎えるのか



S 45年卒

宮久保 渡

私ども、昭和四十五年に向丘高校を卒業した期は、二十三年度に還暦を迎えます。一昔前と違い、今の六十歳は体力的にも精神的にもまだまだ若いと思っております。しかし、社会的には、一定の区切りの年齢である事は間違いありません。

私自身は、定年はありませんが、多くの人は定年を迎えることとなると思っています。いずれにしましても、残りの人生は二十年位であり、既に四分の三は経過したという事実は認めざるを得ません。

そこで、これからの人生をどう生きるのかについて、改めて考える時期に来ていると思っております。

ここ何年間は、私も含めて多くの方は、子供たちが巣立ち、夫婦二人だけの家族（一人だけの人もいるかもしれませんが）で、すれ違ひの生活をしていく方も多くいると思いますが、そろそろ、家庭に対しても違う生き方を模索しなければならぬ年齢に入ってきています。仕事中心から、それ以外の生き方を目指す。先輩達はそれぞれ通過した道であります。先輩達はそれぞれ通るとなるとどのようによければ良いのか

45年卒 同期会 予告

60歳(還暦)の今年同期会を開催します
9月18日(日)会場その他未定
幹事はB組です

幹事長	石田 繁	090-8455-1160
幹事	石川 茂子	080-5097-8230
幹事	酒井 和美	090-5340-4141
幹事	田村 道子	090-1404-9348
幹事	岡本 宣明	090-2649-1536

後日、同期の皆様にはご案内をします

悩んでいる今日この頃です。私はとりあえず、ボランティア活動を地域や様々な領域で本格的に開始しようとは思っています。ただ、公然と宣言をしてしまうと、次々と様々な会場の中心的な役員になつてくれとお願いがきてしまうので、可能な範囲で、好きな所へ参加をしていきたいと思っています。

その意味では、高校の同窓会により積極的に参加をするなり、また、豊島区のテニス連盟の役員なり、町内会その他、地域の役員を受け持つ事も考えていきたいと思っています。そのような行動をする中で、今後の生き方について、新しい一年生です、どうか皆様方の御指導を頂ければ幸いです。

ひろば

いにしへの奈良の都の旅



S31年卒
川端 春生
(旧姓 三橋)

平城遷都千三百年祭・大極殿の復元、名刹の秘仏特別公開、などの謳い文句について誘われて、老夫婦二人ではるばる奈良を旅することにしました。

随分前に、平城宮跡をゆつくりと見たことがある。とてつもなくひろい原っぱに、平城京の礎石だけがぼつぼつあるだけで、なにもない風の音が聞こえてくるようなところだった。ここに、唐の長安のような都があったとは想像するのも難しいところだった。

西大寺駅からバスで平城宮へ。朱雀門、展示会場そして大極殿があった。近づいたら大きい。平城宮は、七百年に藤原京から遷都。主たる歴史的な事項として、聖武天皇と東大寺大仏建立、唐僧鑑真来日と唐招提寺建立、藤原仲麻呂の乱、道鏡のことなどがある。広いので、見て歩いてくたびれた。でも、感激した。

ぼたんで有名な長谷寺を参拝した。菩提寺の総本山なので、いつか二人で行こうと言っていたことが、やっと実現した。時期が良かったのか、登廊から見たぼたんの花がきれいだった。秋、十月になって、老夫婦で、再び奈良へ旅することになった。きつかけは薬師寺の東塔が、老朽化したため解

体し、新しく建て直すことになり、三重塔のご芯柱を公開するという話だった。この機を逃すと見ることができないかもしれないということでもとま

薬師寺の東塔の芯柱は、直径九十センチの大木で、それが一回り大きい礎石の上に乗っているだけのものだった。まさに、建築の粋といえる見事なものだった。唐招提寺や興福寺、東大寺の大仏や二月堂をみているうちに、中学生や高校生の頃の修学旅行を思い出した。中学も高校も奈良・京都見学だった。当時、修学旅行列車「日の出号」で往復、バスでクラス単位で寺社を見学して回った。にぎやかな旅だった。中学の時は、奈良公園の鹿が珍しく、大仏の大きさにびつくりし、法隆寺の伽藍に胸をときめかせたものだった。



奈良の旅「大極殿」2010.5.19

高校では、帰りの列車が急行列車だったような気がする。楽しくてあまり寝ていないので昼間は眠くて、バスの中で熟睡、お寺のお坊さんの説明も夢見心地だったような記憶がある。

古都、日本の心を知る旅、といわれる通り、いにしへの昔の都は、期待を裏切ることなく、歴史の重みを強く感じさせ、心に残る旅だった。感性の強い時期に修学旅行という行事に出会い、奈良と京都の神社仏閣を訪ねることができたのは、今にして思えば、大切なめぐり合わせだったと思う。

行儀のいい生徒ではないし、歴史に興味深いわけでもないけれど、あの時の仲間と一緒に見て歩いた清水寺や東大寺は、年老いても当時の新鮮さを失わずに悠然とそびえていた。

今日、修学旅行は飛行機を利用して、沖縄や北海道に行くようだが、それもいいが、日本の古い文化に触れるのも、若い日の宝になるのではないかと思

平成二十二年十二月

初めての海外旅行



S34年卒
石山彼早子
(旧姓 佐伯)

初めての海外旅行はシンガポールでした。飛行機の窓から街を見た時、明るいオレンジ色の屋根が点在し、チャングン空港の中もエキゾチックな雰囲気

のガイドさん（日本語堪能）がワゴン車で迎えてくれ、最後まで一緒に居て面倒をみてくれました。宿泊予定のマンションホテルへ行く道路・建物・街並は緑が豊かで高速道路の橋桁にまで木々があふれていたのは驚きでした。不思議なことに枝と葉は全部下に向いていました。一日に一回はスコールがありますと聞いていたのですが運が良いのか悪いのかはわかりませんが一度もスコールには合いませんでした。夕食はシンガポールの名物のチキンライスをレストランに食べに行ったのですが想像していたものとは違い香草で蒸した鶏肉と一緒に炊いたお米がお皿に盛り合わせてあり、お米もタイ米のように細長くパサパサして口には合いませんでした。ホテルの食事はバイキングスタイルが多かったので自分の好みで食べられましたし、とても美味でした。

観光はマライオン公園、セントーサ島、植物園、夜の動物園等を廻り、自由見学の中にマレーシア観光があったので参加してみました。マレーシアの中心から見ればシンガポールとの国境のそばなので片田舎だと説明されました。

トイレ事情が極端に悪く、飲料水も決められたボトル以外のものは飲めないうし、日本の水の良さを感じました。マレーシアは、日本の県のように区分されていてその一つ一つに王族がいて統治していて、世襲制度になっていること。戦時中、日本軍が統治した時期があったことですが、日本との

関係はとても良好でその当時の内容を説明され王宮の中も参観できました。食文化・環境・行政といういろいろなところで日本にないものも見られました、とても良い旅行でした。一番うらやましく思ったのは、教育・医療関係が国の負担で賄うと聞き、日本ではありえない話とと思いました。何はともあれ無事に帰国でき、現在に至っています。

希望と勇氣



S 41年卒
尾道 郁代
(旧姓 大橋)

たまたまかけていたテレビで「柴田トヨ」さんの詩の朗読を見ていました。素朴なことばで綴られていて心に温かさが伝わる詩でした。もうご存知の方も多いことでしょう。今さらながら感動を覚える私が遅れているのかしら？

九十二歳から詩をつくりはじめ九十八歳の二〇一〇年春、詩集を出版しました。九十二歳から新しいことをはじめめることも驚きですが、それを出版される迄になるということも驚きです。読者からの感想を手紙等でいただき、それが又エネルギーになっていくとのこと。なんてすばらしいのでしょうか。最近では外出できなくなつたので身の廻りのことや昔、自分が子供だった頃のお母さんのこと！子育て中の息子さんのことなどを詠んでいらつしやいます。

私が驚く詩は先生に

私をおばあちゃんと呼ぶないで「今日は何曜日？」「9+9は幾つ？」そんなバカな質問もしないでほしい

「柴田さん西条八十の詩は好きですか？小泉内閣をどう思います？」こんな質問ならうれしいわ



手話で広がる世界



S 47年卒
佐々木 郁子
(旧姓 遠野)

手話を習い始めて三年目になる。テレビドラマ「愛していると云ってくれ」を見て大変感動し、主演二人のファンになり、二人の使う手話をまねすることから始まった。港区ヒューマンプラザという施設で毎週火曜日の午前が開かれる手話講座を、初級・中級と進んで現在上級クラスで勉強している。手話は両手と顔の表情で伝える視覚言語だが、その制約から英語などほかの言語に比べれば圧倒的に少ない語数



で表現する。語数が少なければ覚えやすいかと最初思ったのだが、これが大間違いで、語数が少ないから一つの語に様々な意味があり、場面に応じて臨機応変に使い分けなくてはならない。初心者にはそれが難しい。新聞記事のような堅い文をそのまま伝えることはほぼ不可能だ。意味が伝えられればよしとしかなくてはならない。文章の味付けをする接続詞や接尾語などにこだわって話す速度に追いつけない。

私は「ことば」に興味があり、これまでも中国語・韓国語・スペイン語・英語を習い続けて、最近それにアラビア語も加えたところだが、手話の表現方法にはそれらの他の言語とは全く異なる驚きがたくさんある。

例えば、人によって、同じ表現をしてもまるで違う印象を与えてしまうことがある。また、指の長さや手の大きさ、顔の表情など、それぞれの人の違いで読み取りやすさが異なる。

習い始めて三年目といっても、まだまだ初心者域を出ない状態だが、いつの日か、聴覚障害者の役に立てるようになりたいと願っている。どんな形でも、まず会話して、知り合うことが始まりだと思う。たくさんさんの始まりを目標して頑張っていきたい。



新たな絵・新たな視座

S 36年卒

田中 正明

数枚の絵を、部屋に掛けてある。水彩、エッチングなど。いずれも外国旅行時に求めたもので先々の地で目にした景観や人々の生活振りが描かれている。ここにチュニジアン・ブルーの地中海を背に、赤みをおびた道を、頭に籠を乗せ笑みを浮かべながら歩む二人の婦人を描いた小品と、シリアのダマスクスで買った求めた路地と塀と家の一部を切り取り、どこにでも見られる様な寸景を描き込んだ一枚とが加わった。昨年、チュニジア、シリア、ヨルダン、アラブ首長国連邦のドバイを訪れた旅の思い出に繋がるものである。チュニジア共和国は初期の世界史に登場するフェニキア人と、北アフリカ山地の原住民でムスリム化しキリスト教諸民族から異教徒と目されたベルベル人ゆかりの地である。成田から首都のチュニスまで、フランスのパリで乗り継いでおよそ十五時間。長い旅路であった。

海上貿易で繁栄を極めたフェニキア人が築いた植民市カルタゴ、その歴史は二八〇〇年前に遡る。しかしその後地中海の覇権を駆けローマと戦ったポエニ戦争に敗れ、徹底的に破壊された。淡い期待を持って同地に立つたが、一帯はローマ遺跡が広がっていた。フェニキア時代の遺構は地上になく、地中海を前景にしたジュルサの丘の地中に、僅かに往時の住居の石組みが残されているだけであった。とはいえ程近い地

に設けられていた往時の軍港跡からは、強大な海洋民族として時代を画した叡知を十分窺うことができた。軍港は防護壁で囲まれ、それでいて海からの視界を完全に遮るよう創意され、数多くの軍船を円形状のプールに導き、放射状に造った格納庫に繋留したのだと言ふ。驚嘆した事柄の一端である。因みに現在のチュニジア共和国内に、ローマ時代ローマを模した六十余りの都市が建設されていたとのこと。カルタゴに残されている数々の建築跡も、その一つであった。

ベルベル人の穴居住居はモロッコでも実見したが、チュニジアでは南部の小村マトマタにあつた。真夏の暑い日差しを避け、地表に垂直に掘った縦穴から更に二階建の横穴を掘り、一階を住居、二階を貯蔵庫として使っている。掘り抜いた部屋の壁に色鮮やかな絨毯が掛けられ、ベッドや生活用品が所を占めていた。隣の部屋ではベルベル人特有かと思われる片足を投げ出して座つた老婦人が、石臼を挽いていた。マトマタは、映画「スター・ウォーズ」の撮影の地としても知られている。

シリア・アラブ共和国の首都ダマスカスは、成田からドバイ経由で十三時間余り。メソポタミアと地中海を結ぶ要衝にあり旧約聖書にも記された最古の都市で、ここから同国内と隣国のヨルダンを廻る旅程であつた。共に国土の多くを砂漠地帯が占めている。陸路二一〇〇キロメートルを走つた。総じてシリアは淳朴、ヨルダンは洗練されているように感じた。物価もシリアが安く、買い求めた品物をトランクが閉まらない程に積んだヨルダンの車が、

シリア側の国境検問所に列をなしていた。ダマスクスから十字軍の騎士団が十二世紀に要塞とした居城、クラック・デ・シユバリエに向かった。市街は家々が混み合い、どの家の屋根にも貯水用の赤色のタンクとテレビのアンテナが乗っている。行き交う人々の服装はムスリム世界のもの。生活の息遣いが感じられる。車が進むと軍隊の基地が現れた。とはいえ草原が続くだけで、レバノンの内戦に介入したり、イスラエルと緊張関係にある国の軍事施設としては想定外のものであつた。更に進むと、広大な丘陵上に城が見え始めた。十字軍が築いた城は重厚でこれまで見学したどの城よりも堅固、後にヨーロッパの城郭建築の範となつたとはガイドの説明である。

ホームスを経、ローマ時代に地中海と内陸部を中継する隊商都市として繁栄を極めたパルミラに向かう。世界遺産に登録されている、列柱回廊・住居・円形劇場・記念門・神殿・墳墓群などを見て廻るのに一日を要した。日没前にアラブ城に上り、高みから鳥瞰した遺跡群は夕日に赤く染まつていた。国境を越えて、ヨルダン・ハシミテ王国に入国。国名はムハンマドの血筋を受けたハシミテ家のヨルダンを意味しているのだと言ふ。故フセイン国王の名を想い起こした。

映画「アラビアのロレンス」のロケ地となつた赤い砂漠ワディラムを、廃車同然の四輪駆動車で疾走。運転席の速度計の針が失われていたが、日本車は砂漠の仕様に勝れているとドライバーの意気は高い。疾走した先の岩陰に、

古代人が描いた岩絵が残されていた。続いて、遊牧民のナバテア人とペドウィンが二〇〇〇年以上前に築いたペトラ遺跡へ。ここに至る間にも、砂漠で羊の群れを追っているペドウィン生活を続けて来た民族も、定住化が促進されているのだと言ふ。巨大な岩石を彫り掘り抜いた宝物殿エル・ハズネ、修道院エド・デイルを中心とする荘厳で大規模な遺跡群で、抜群な人気を博するだけに観光客の数も随一。雑踏と、様々な言語が飛び交い興奮気味な多様な民族の笑顔が印象的であつた。

モーゼ終焉の地とされるネボ山など宗教上の数々の遺跡や教会堂、悠久な地球の歴史を刻み付けた大地溝帯、海面下四〇〇メートルにある死海、記したいことは他にも多い。

幹線道路脇の標識にバグダッドの文字が記され、死海越しに昼間パレスチナの西岸地区が微かに霞み、夜はイスラエルのエリコの灯が見えていた。続くドバイと、これまでに訪れた西アジア・北アフリカの国々を加え、複雑な歴史を刻む一帯の国々は、現代もなお国際政治や国際経済と深く関わっている。異なつた視座を持つ必要を、実感した旅であつた。



パレスチナをのぞむ (ヨルダンにて)



難波副校長を囲んで

総会 懇親会

平成22年4月25日(日)



役員・幹事一同



役員紹介



折りたたみ自転車ゲットの先輩が
後輩に譲る姿



フレッシュな仲間



難波伸一副校長、小川力洋会長、関根茂校長
着任の両先生に花束贈呈



来賓方とPTA役員

入学式

平成22年4月7日(水)



整然とご挨拶を聞く生徒達



担任紹介模様

看板大賞とは

向陵祭のPRのため、各クラスごとに製作された18枚の中より選出されたものです。
選出は各クラス委員及び生徒会役員等によるものです。(堀外に掲示された作品)



合同旅行会

平成22年9月4日(土)～5日(日)

日光、中禅寺湖畔亭



向陵祭・懇親会

平成22年9月19日(日)



中庭(光庭)にて
ブラスバンド部の演奏模様



向陵祭参観の元PTA会長方と同窓生作品展前



PTA室に同居で作品展を行っている



PTA役員・OB会長・
同窓会役員で懇談

反省会(忘年会)

平成22年12月8日(水)



於 駒込 磯太郎

出張幹事会兼東京湾花火大会

平成22年8月14日(土)



於 有明コロシアム(佐々木郁子宅・27階)にて



寄付者・会費納入者一覧



平成22年度中に寄付金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)
尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。
ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。
尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(23年1月末日現在)

寄付者名一覧

- 旧職員
 - 池永 武昭
 - 長田 英芳
 - 近藤 節子
 - 橋本 力
 - 東 祥三
 - 古田 哲
 - 杉本 カヅ(杉本)
 - 宮下 明子(小野)
 - ◆S25年卒 茅田嘉久子(福田)
 - ◆S26年卒 延時勢津子(梅原)
 - ◆S27年卒 鎌田 美子(佐々木)
 - ◆S27年卒 浦野有久枝(加藤)
 - 岡岡 節子(東野)
 - 能勢スミ子(関根)
 - 林 陽子(加藤)
 - ◆S28年卒 秋山 知也
 - 大久保邦重
 - 小口トシ子(飯塚)
 - 小林 洋子(庄司)
 - 雷田 恒彰
 - 中西多恵子(山田)
 - ◆S29年卒 内丸 喜代(木嶋)
 - 中村香代子
 - 橋田美智子(山口)
 - 星 直正
 - ◆S30年卒 青木 正夫
 - 青木 イズ子(米山)
 - 荒井喜美子
 - 大竹 行子(吉葉)
 - 中野 順子(森下)
 - 中村 素子(野野)
 - 西正 トミ(市川)
 - ◆S31年卒 池野 通(高橋)
 - 梅田 博之
 - 小川 力洋
 - 川端 春生(三橋)
 - 小柴美英江(大塚)
 - 高尾 和子(杉本)
 - 沼田 敏二
 - 三田 昌男
 - 山本 越子(橋本)
 - ◆S32年卒 金沢 英夫
 - 櫻井 弘清
 - 佐藤 元晃
 - ◆S34年卒 津坂 敏子(石神)
 - ◆S34年卒 石山俊早子(佐恒)
 - 川勝 洋子(橋本)
 - 立花 玲子(古川)
 - 永田 正博
 - 村木 豊彦
 - ◆S35年卒 五十嵐光俊
 - 金子 三郎
 - 宮下 邦枝
 - ◆S36年卒 我妻 真典
 - 岩井 和子(天野)
 - 大幸 研二
 - 田中 正明
 - 松田 宏道
 - 真福 共栄
 - ◆S37年卒 浦野 次枝
 - 宮下紀恵子
 - 山崎 政利
 - ◆S38年卒 小長谷弘子(矢沢)
 - 佐藤 洋子(飛田)
 - 正野 建樹
 - ◆S39年卒 荒川 正
 - ◆S40年卒 湯浅美保子(奈良)
 - 井上 芳子
 - 内田 淳子(青木)
 - 斎藤由紀理
 - 杉浦 重治
 - 高橋 重雄

会費納入者名一覧

- 鳥飼 重和
- ◆S41年卒 岩崎 淳(村越)
- 大沢久美子(坂本)
- 尾道 郁代(大橋)
- 原 淑子(近藤)
- 渡辺 惠美(高田)
- ◆S42年卒 菊池 武博
- 皆川 和美
- ◆S43年卒 榎本 裕子(高橋)
- 鈴木 幹夫
- 伊達 清二
- ◆S44年卒 加藤 和子(境)
- ◆S45年卒 金澤 信子
- 宮久保 渡
- ◆S46年卒 恩村 一郎
- 片倉 恵子(松島)
- 岸山 幸子
- ◆S47年卒 佐々木郁子(遠野)
- 武田 正敏
- ◆S48年卒 田中 千晶(藤ヶ谷)
- 本多 和子(雨宮)
- ◆S49年卒 石川 宣司
- 今出 隆久
- 辻 薫
- ◆S47年卒 成岡 美佐
- ◆S48年卒 旗野 敏弘
- ◆S49年卒 今井美代子(清水)
- ◆S50年卒 高橋 康隆
- ◆S51年卒 斎藤 千春
- ◆S52年卒 青木 竜哉
- ◆S24年卒 石川 和子(柴崎)
- 井上 早苗(阿部)
- 高木 芳江(高木)
- 堀田 恵津山(田)
- ◆S25年卒 秋山 淑味(武長)
- 小田切成江(小林)
- 昼間 敦子(岡)
- ◆S27年卒 安土 靖子(川崎)
- 上原 茂子(荻原)
- 大井 弘子(市川)
- ◆S28年卒 幸田 俊子(谷田)
- 酒井美代子
- 佐藤 陽子
- 清水 時代(末之村)
- 高瀬 陽子(馬場)
- 高橋 浩子
- 津雲 真子(松田)
- 長谷川千代(中沢)
- ◆S28年卒 井上 昌子(押田)
- 岩松 英子(塚田)
- 内山 昌子(豊田)
- 江島 きく(荒川)
- 川井恵美子(酒井)
- 黒川 波洋
- 小林 恰子(足立)
- 小林 房子(加藤)
- 鈴木 梅代(山本)
- 関 富七夫
- 竹内佐代子
- ◆S29年卒 長坂 順子(横川)
- 荒木 彰生(三井)
- 鈴木 植子(山崎)
- 高沼 芳子
- 高沼 勝子(金安)
- 照野 和子(島田)
- 長井 広美(岡田)
- ◆S30年卒 上田 明

- 佐野 裕子(吉原)
- 中川 貴子(山崎)
- 長縄 信孝
- 服部 依子(星出)
- 広江 英一
- 向山 孝子(長谷川)
- 安河内恵美子(鶴見)
- 山田 順一
- ◆S31年卒 石山 登
- 伊藤美知子(二橋)
- 居村 正久
- 遠藤 恭子(山田)
- 堀田 仍美(坂口)
- 柏 やよい(保田)
- 佐藤佐江子(森)
- 藤田 恭子(守谷)
- 水津 信雄
- 鈴木やな子(櫻妻)
- 塚本トメ子(佐藤)
- 二瓶美美子(佐坂)
- 姫野千代子(近藤)
- 深瀬 恒夫
- 村上 満男
- 山田 和子(野宮)
- ◆S32年卒 鶴塚 美代(大竹)
- 大津 紀男
- 岡本 照子(中川)
- 小西 圭子(城)
- 齋 政克
- 佐久間博子(岩垂)
- 中島 雅子(大久保)
- 春川 園子(勢)
- 宗村貴世子(山川)
- 米光富美枝(林)
- ◆S33年卒 菅井 淳
- 諏訪 依子(田中)
- 中河 健男
- ◆S34年卒 植山栄次郎
- 乙部たみ子(新名)
- 郡司 茂代
- 園府田美恵子(島田)

- 若口 雅子
- 古林 徹
- 鈴木 紀(吉原)
- 田牧 純一
- 藤崎寿美江(岩田)
- 三木 桃子(竹倉)
- 壬生田紀夫(三浦)
- 森木 絃子(大田)
- ◆S35年卒 大久保圭子(大久保)
- ◆S35年卒 金子 操子(村瀬)
- 小島 洋子(嶋)
- 清水 幸明
- 床 和子(高橋)
- 友部 佳子(立川)
- 永沢 治子(山本)
- 野尻 栄子(矢島)
- 橋本 寿子(岩本)
- 三浦みさ子(江島)
- 山本 一智(高橋)
- ◆S36年卒 石黒 寿子(八木)
- 奥村 誠
- 北川 敏子
- 久保田帆子(浪川)
- 倉持 俊義
- 黒野 宏
- 塚原 元昭
- 鶴岡 実
- 寺尾ヒロミ
- ◆S37年卒 三野 洋子(前原)
- 佐原陽子(野原)
- 板谷 勝
- 今村 春江(星)
- 小黒 由明
- 河原 正史
- 齋 巖
- 鈴木多可子(浅賀)
- 寺村 光司
- 永井 良子(樋口)
- 乙部洋子(富田)
- 四方 進
- 山口 礼子(島田)
- 山口 洋子(上野)
- 渡辺 光寛
- ◆S38年卒 大田 和子(豊田)
- 小野 勲
- 坂井 昭子(高山)
- 武政 征子(塚田)
- 谷口 昭夫
- 宮沢 博子(興津)
- ◆S39年卒 大野美音子(宮下)
- 河北 迪子(浅沼)
- 木内 明代(田口)
- 北田 昭子(大山)
- 住司 和美(轟)
- 難州 慶次
- 藤尾 誠
- 盛岡 治英
- 矢萩 公男
- ◆S40年卒 相澤 妙子(戸川)
- 秋山 浩一
- 阿部 裕子(山田)
- 大西 政男
- 澤田 孝子(藤村)
- ◆S41年卒 井村 忠
- 鶴岡 俊子
- 大村美登里(吉田)
- 竹内 伸一
- 千葉 家門
- 戸田 光子(土井)
- 長谷川三枝子(原)
- 町田 悦子(笹)
- 溝口 進一
- 三谷アツ子(西)
- ◆S42年卒 池ノ上政雄
- 植原美年子(川田)
- 小川 光子(寺島)
- 藤田 照良
- 渡辺 幸恵(岩永)
- ◆S43年卒 中野 仁史
- ◆S44年卒 正田 京子(宮谷)
- 山邊 光久
- 飯岡 明子

- ◆S58年卒 飯野 正則
- 大熊 雅男
- 加藤 真子(内藤)
- ◆S45年卒 松上 恵一
- 小林 里美(吉田)
- 小林 正夫
- 山口 義朗
- ◆S46年卒 小池 二美(飯島)
- 若山 孝之
- ◆S47年卒 高田真里子(渡邊)
- 丹下 薫
- 友野 郁子(渡辺)
- 長谷川敦子(高意)
- ◆S48年卒 矢島 明子(鈴木)
- 遠藤 清孝
- 小高 智子(池田)
- 柏 英明
- 須賀 福子(牧野)
- 関口多鶴子
- ◆S49年卒 川崎すみ子(白石)
- 川島 清次
- 三好 陽子
- ◆S50年卒 横山久美子
- ◆S50年卒 大西 翔子(田口)
- 小西美恵子(島村)
- 永井すま子
- ◆S51年卒 藤原 雅和
- ◆S53年卒 中沢香代子(近間)
- ◆S54年卒 松尾 佳子
- ◆S55年卒 佐藤 毅
- ◆S56年卒 中野 仁史
- ◆S57年卒 武智 弘英
- ◆S57年卒 飯岡 明子
- ◆S58年卒 梓澤 秀昭
- ◆S59年卒 小川美紀子(船)
- 木下 玲子(川井)
- 佐藤美裕子
- 千田二仁江(樋口)
- ◆S60年卒 内田 明美(内田)
- ◆S63年卒 保原美穂子(俣原)
- ◆S64年卒 若山 孝之
- ◆S65年卒 横山 信夫
- ◆S66年卒 阿部 直子(雨宮)
- ◆S67年卒 高橋 英法
- ◆S68年卒 吉田 宗弘

運営費にご協力をお願い
会活動活性化に向け、ご提案・ご寄付・年会費等
のお振込み方、ご協力をお願い申し上げます。

【事業報告】

平成21年度分
(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

I 役員会(幹事会)

H21年4月8日(水)
会計監査会 於 小川事務所
H21年5月16日(土)
総会時欠席新会員への印鑑発送、総会時
出席新会員への写真送付会を行った。
10名参加 於 北区東田端地域振興室
H21年7月15日(水)
今後の企画会議 8名参加
於 北区東田端地域振興室
H21年12月13日(日)
次年度計画を検討・忘年会 8名参加
於 北区東田端地域振興室
H22年1月24日(日)
会報内容確認 10名参加
於 北区東田端地域振興室
H22年3月15日(月)
年度納会と会報発行祝い 13名参加
於 駒込磯太郎

II 総会記念演奏会 於 母校6階ホール
H21年4月26日(日) 14:30～15:30
母校吹奏楽部 指揮・原田 亮先生
いつもながら真面目で立派な演奏でした。
観衆60名程。
同窓会から激励の意味で謝礼をした。
もっとギャラリーが欲しいところです。

III 総会/懇親会 於 母校6階ホール
H21年4月26日(日)
13:30～ 総会は例年の通り少数 参加
会員25名でしたが、報告・予算審議等可
決されました。
16:00～ 懇親会・入会歓迎会
役員 13名程参加
新会員(H21年卒) 98名
会 員(一般) 26名
パーティーではノンアルコールだが、立
派なお料理と数多くの愛県ゲーム賞品で
湧いた。中でもジャンケンゲームで折り
たたみ自転車1台を争奪した。

IV 研究活動(全国大会)

H21年5月24日(日)
茨城大会を開催
於 水戸ハイアットホテル
県内在住者92名に呼び掛けを行った結果、
現地からの参加は2名。講師の伊勢武治
氏には無報酬で講演と現地東海村の案内
を頂きました。12名参加
H21年9月5日(土)～6日(日)
合同旅行会 於 熱川シーサイドホテル
「写真参照9頁」20名参加
H21年9月19日(土)～20日(日)
向陵祭に参加
於 母校B棟4階視聴覚教室
P.T.A会場に同窓会コーナーを設営、写
真展を行った(稲葉・川端・田中・小川
各氏出席)
H21年9月20日(日)14:00～15:00
ホームカミングセミナー 19名参加
於 母校3階会議室
「みがこう、あなたの日本語力」～正しく
美しい日本語の使い手を目指し～
続いて懇親会を行った「写真参照9頁」
H22年3月4日(木)13:00～
小川会長が卒業式予行日に参加して、未
入会者に当会入会についての説明と意義
を全員に向けて壇上で語ったものの、こ
の年の入会者は半数以下に留まった(2
2名中102名が入会した)。於 母校体育館
H22年3月24日(水)13:30～
小川会長が入学説明会に参加して、当会
入会の件について保護者・生徒全員(28
0名×2=560名)に壇上からお願した。
於 母校体育館

V 会報関係

H21年12月13日(日)
会報掲載事項検討 8名参加
於 北区東田端地域振興室
H22年1月24日(日)
会報原稿持ち寄り会 10名参加
於 北区東田端地域振興室
H22年2月4日(木)
編集会議 3名参加
於 小川事務所
H22年2月19日(金)
編集会議初校正会 3名参加

於 小川事務所
H22年2月22日(月)
第二校正会/校了 3名参加
於 小川事務所
H22年3月2日(火)
3/4卒業式にて配布できるよう母校に届
けた。1200部 母校へ(新入生280名/2年
生230名/3年生230名/卒業生230名/学校
等230名)

VI 渉外関係

H21年4月3日(金)
元会長山口延利氏文部科学大臣賞表彰を
祝う会に小川会長が出席
於 グランドヒル市ヶ谷
H21年4月7日(火)
入学式に小川会長と田中相談役が参列し
た。於 母校体育館
新入生241名と保護者で満席だった。
H21年5月29日(金)
P.T.A歓迎迎会に招かれ小川会長が出席
した。
於 東京グリーンコートカフェテリア
H21年6月8日(月)
運動会に招かれ小川会長が参列した。
於 六義園運動場
H22年3月4日(木)
卒業式に小川会長と田中相談役が参列し
た。於 母校体育館
H22年3月4日(木)
卒業生を祝う会に小川会長が招かれ出席
した。於 神楽坂アグネスホテル

VII 振興助成

S34年(第11期)クラス会幹事中津井氏
宛に(45名呼び掛け)助成した。

VIII 卒対関係

恒例として新入会者に印鑑セットを贈呈
することとし、総会の場で配布するた
め発注した。(102名分)

【決算報告】別紙決算報告のとおり

【事業計画】

I 総会・懇親会(新成人を祝う会・新卒業生
入会歓迎会)開催の件
やよい20号2頁参照① H22年4月25日(日)

II 全国大会・よやい会横浜大会・横浜みなと
みらい散策会開催の件
やよい20号2頁参照② H22年5月23日(日)

III 宿泊研修会(合同旅行会)開催の件
やよい20号2頁参照③ H22年9月4日(土)
～5日(日)日光中禅寺温泉湖畔亭

IV 向陵祭参加とホームカミング開催の件
やよい20号2頁参照④
向陵祭 H22年9月18日(土)～19日(日)
9月19日(日)15:30～セミナー予定/懇親
会開催

V 同期会・クラス会等への通信費の助成
呼びかけ人数1通に付き¥200 報告文を受け
取り次第、代表幹事の指定口座宛お振込
致します。会合の集合写真等を添えて小川
会長宛速やかに郵送して下さい。

VI 広報誌の発行と発送(会員相互の意思の疎
通を図るため)
平成23年2月に“やよい”21号発行の予定
(会員・クラス会・同期会等の適切な投稿を
歓迎)。原稿締め切りは1月末とする。

VII 新卒業生の入会者に記念品特注印鑑セット
を総会日の入会歓迎会にて贈呈する。

VIII 年会費、寄付金ご協力をお願い
新卒者の入会金の殆どは会報関係に充当。
年会費は1口¥1,000～¥2,000程度運営費
としてご協賛をお願い致します。
年会費込み¥3,000以上の送付は寄付金扱
いと致します。

IX 次期定期総会の件
平成23年4月24日(日)開催の予定。アト
ラクション、懇親会についての提案を受付
中。
新成人を祝う会(H21年3月卒業生対象)を
継続開催予定

【予算】 別紙予算のとおり

平成21年度会計報告及び平成22年度予算

都立向丘高等学校同窓会
平成22年3月31日現在

Table with 3 columns: 収入の部, 21年度決算, 22年度予算. Rows include 入会金, 年会費, 懇親会費, etc.

Table with 3 columns: 支出の部, 21年度決算, 22年度予算. Rows include 全国大会関係費, 交通費, 通信印刷費, etc.

上記の通り収支報告申し上げます。

平成22年4月25日 同窓会会長 小川 力洋
会計 尾道 郁代 長谷川三枝子

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成22年4月11日 監査 石山彼早子 寺村 光司

やよい俳壇

檜 紀代選

(S31 佐藤令子 旧姓 安藤)

小春日やいまは名のみ富士見坂

S27 森重竜郎(龍彦)

コスモスに埋め尽くされて小海線

S27 小松原錦子(旧姓 吉沢)

夕薄暑肩の触れ合ふ交差点

S30 安河内恵美

(旧姓 鷹見恵美子)

自尊心失せたり雨の虞美人草

S31 梶田仍美(旧姓 坂口)

フイクサーは姿を見せず蟻地獄

S31 麻生やよひ

(山本越子 旧姓 福永)

設計図なくて緻密に蜘蛛圏かな
檜 紀代吟

TEL/FAX 03-3533-7489
E-mail: etsutra@krabjlobe.ne.jp

一筆啓上

拝啓 陽春の候、ご清栄のことと存じます

この度、三月末をもちまして、東京都立向丘高等学校を最後に定年退職いたしました。東京都立向丘高等学校を最後に定年退職いたしました。公私共に一方ならぬご指導ご厚情を賜り誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。

四月からは東京都立つばき総合高等学校に勤務しております。今までの経験を生かし誠心誠意責務を果たす所存でございます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。まずは略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます。

平成二十二年四月吉日
勤務先 下(四)八五三三 大田区本羽田三十一一五

TEL 03-5737-0151

☆俳句の世界へのお誘い

俳句のお仲間になりませんか？
俳句なんて年寄りのするもの、と思っているでしょう。でも、いまや「俳句甲子園」などと銘打って高校生が夢中です。

句をぶつけ合って、どちらが読者の共感を得るか、議論をするのです。テレビで見ている、みなさんなかなかの論客で、物事の本質やどうしてそうなるのかの必然性などを論じ合います。若い方は社会勉強、そうでない方は、脳の活性化にぜひお薦めいたします。最初は、鉛筆と紙とあなたの意思があればいいのです。ご連絡、お待ち致しております。

連絡先 麻生やよひ
(山本越子 旧姓 福永)

訃報

佐藤 晃 旧職員 H23.1.9 享年85才
秋元 奎子 S31卒 H19.11.26 享年70才
心よりご冥福をお祈り申し上げます
ご報告のありました方のみをお知らせいたします

同窓会役員名簿

平成23(2011)年2月20日現在

役職	氏名 (旧姓)	卒年	〒	住所	電話番号
顧問	佐々木 益 男	歴代校長	174-0043	板橋区坂下2-14-22	03-3966-0959
〃	新城 昇	〃	331-0802	さいたま市北区本郷町1592-3	048-667-2357
〃	池 永 武 昭	〃	284-0006	四街道市下志津新田2545	043-423-4412
〃	北 村 透	〃	121-0823	足立区伊興2-21-10	03-3853-1460
〃	北 村 正 生	〃	343-0032	越谷市袋山621-10	048-971-2587
〃	石 井 隆 夫	〃	135-0024	江東区清澄1-7-8	03-3642-6312
〃	戸 谷 賢 司	〃	202-0013	西東京市中町3-4-8	0424-23-3221
〃	前 蘭 実	〃	146-0085	大田区久が原5-5-16	03-3754-6096
名誉会長	関 根 茂	校 長	336-0918	さいたま市緑区松木3-33-8	048-875-7028
会 長	小 川 力 洋	31年卒	114-0012	北区田端新町1-27-11	03-3893-9792
副会長	三 田 昌 男	31年卒	113-0022	文京区千駄木5-49-3	03-3821-2809
〃	杉 浦 重 治	40年卒	170-0003	豊島区駒込1-1-7-201	03-3946-7356
会 計	尾 道 郁 代 (大橋)	41年卒	165-0026	中野区新井2-2-9	03-3385-4504
〃	長谷川 三枝子 (原)	41年卒	203-0023	東久留米市南沢4-8-42	042-467-9510
書 記	山 本 越 子 (福永)	31年卒	104-0051	中央区佃2-15-10-308	03-3532-7489
〃	笹 山 幸 子	46年卒	175-0082	板橋区高島平1-76-14-507	03-3934-5963
〃	佐々木 郁 子 (遠野)	47年卒	135-0063	江東区有明1-4-11-2705	03-5500-1313
会計監査	石 山 彼早子 (佐伯)	34年卒	177-0045	練馬区石神井台3-1-26-203	03-3904-2001
〃	寺 村 光 司	37年卒	112-0001	文京区白山5-29-6	03-3944-0281
幹 事 長	櫻 井 弘 清	32年卒	170-0002	豊島区巢鴨1-47-3	03-3946-5735
副幹事長	宮久保 渡	45年卒	171-0032	豊島区雑司が谷3-14-5	03-3981-4554
西日本地区幹	高 尾 和 子 (杉本)	31年卒	581-0003	八尾市本町6-10-1	0729-91-1834
新潟地区幹事	小 山 ゆき子 (吉田)	40年卒	951-8068	新潟市上大川前通5-58	025-222-2218
仙台地区幹事	吉 田 恵 子 (吉田)	41年卒	984-0047	仙台市若林区木ノ下4-7-5	022-295-5092
静岡地区幹事	増 子 明 美 (若尾)	31年卒	418-0115	富士宮市精進川399-1	0544-58-1958
茨城地区幹事	友 部 佳 子 (立川)	35年卒	316-0004	茨城県日立市多賀町2-7-23	029-437-3463
事務局	難 波 伸 一	副校長	113-0023	文京区向丘1-11-18 向丘高校気付	03-3811-2022
相談役	川 端 春 生 (三橋)	31年卒	174-0071	板橋区常盤台2-28-8	03-3967-1310
〃	田 中 正 明	36年卒	113-0022	文京区千駄木2-11-22	03-3823-2148
〃	千 田 二仁江 (樋口)	59年卒	359-1114	所沢市北有楽町1-2-1201	042-928-7844